

KASUGA

輝き ふれあい 安らぎの都市

市報 **かすか**

平成18年

6/15

No.831



須玖児童センター「屋上DEあそび」

特集

地域福祉計画

春日市地域

しあわせ

プラン

CONTENTS

- 3 市からのお知らせ
- 5 トピックス
- 6 情報ひろば
- 14 まちのニュース

地域福祉計画 春日市地域しあわせプラン

少子・高齢化や核家族化、生活様式の変化、価値観の多様化などにより、これまで地域が持っていた相互扶助の機能が薄れてきています。これに対応するため、市は、平成18年3月、地域福祉計画「春日市地域しあわせプラン」を策定しました。

福祉の「福」は「幸福」を、「祉」は「すべての人に等しくもたらされるべき幸せ」を意味します。

市民が地域の中で心のつながりを築き、「おたがいさま」の気持ちで共に生活する社会を目指し、みんなで「地域福祉」を推進しましょう。

基本理念

この計画は、3つの基本理念をもとに策定しました。

顔の見える地域福祉

地域の中で、「市民が福祉情報を共有している」「相談機関などを気軽に紹介してもらえ」「ライフスタイルに応じた地域活動に参加できる」ことが重要です。口コミや顔見知りなど「顔の見える関係」を基本につくっていきます。

自助・共助・公助の連携

自分で取り組むこと(自助)、地域で助け合うこと(共助)、公的サービスで担うこと(公助)、それぞれが役割を分担し連携をとります。

老若男女の共生

男性や女性、子ども、高齢者、障害者など、地域にはさまざまな人がいます。それぞれのライフスタイルに応じた生活を認め、尊重し、支えあうことが重要です。

基本目標

この計画は、7つの基本目標を定め、施策に取り組んでいきます。

一人ひとりの顔の見える場づくり

隣近所と自然な声掛けができる「より近い関係」を作っていくため、地域デビュー(地域との関わり)のきっかけづくりなどを行っていきます。

多様な主体の活動の充実

より多くの人々が地域に関わっていただけるように、自治会やNPO団体、市民団体など、さまざまな団体が主体的に活動でき、それを充実させるための仕組みをつくっていきます。

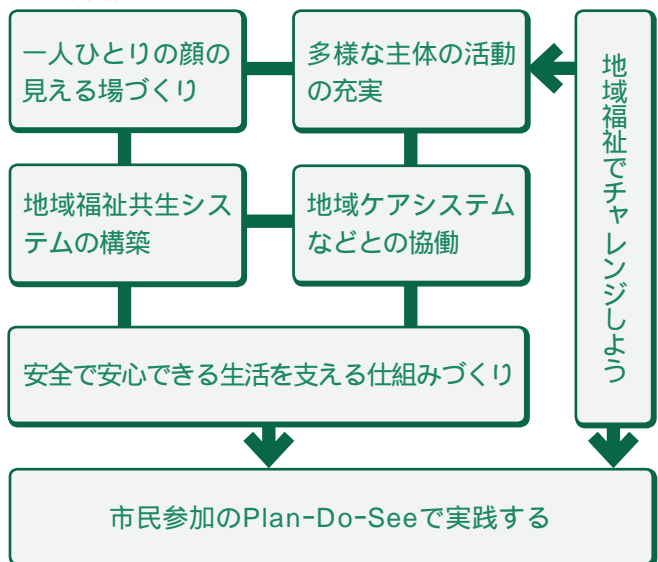
地域福祉共生システムの構築

地域の中で助け合い支え合う仕組みを充実させるため、自治会単位を基本に、地域福祉エリア(中学校単位)を設定し、広域的に取り組むネットワークを構築していきます。

地域ケアシステムなどとの協働

地域には、さまざまな悩みや複雑な課題を抱えている人

基本目標



もいます。その早期発見と解決のため、地域包括支援センターや子育て支援センターなど専門機関との協働を進めます。安全で安心できる生活を支える仕組みづくり

安全に、そして安心して生活できるよう、災害時の対応や犯罪から守る仕組みなどをつくっていきます。

地域福祉でチャレンジしよう

誰でも気軽に地域活動に参加したり、個人の技や知恵を地域に生かしたり、地域福祉にチャレンジできる仕組みをつくっていきます。

市民参加のPlan(計画)・Do(実行)・See(検証・見直し)で実践する

地域の現状に応じて、市民が主体的に地域福祉に取り組むことが重要です。その際に、計画するだけでなく、それを実行し、検証・見直しを行い、再び計画するというサイクルを展開していくため、市民の意見を取り入れ、調整していく場を設けます。

※より詳しい内容は、市役所情報公開コーナーや市ホームページ(<http://city.kasuga.fukuoka.jp/joho/houkoku/index.html>)で見ることができます。

問い合わせ先 福祉計画課 ☎(584)1111 ☎(584)3090

7月の日程

出前トーク「市長と語る」

井上市長が各地区公民館に出向いて、市民の皆さんと意見交換します。
気軽に参加してください。

日時・場所

7月18日 若葉台西公民館 7月25日 ちくし台公民館
7月26日 上白水公民館 7月27日 下白水南公民館

時間 午後7時～8時30分

問い合わせ先 行政管理課行政管理担当

☎(584)1111 ☎(584)1145



税金や保険料

納期を守りましょう

6月上旬から中旬にかけて、納税(納入)通知書や
介護保険料納入通知書を送付します。

納期限までに必ず納めましょう。

通知書送付対象者

市・県民税

1月1日現在、市内に居住し、平成17年中に所得
があった人

国民健康保険税

国民健康保険に加入している世帯の世帯主

介護保険料

65歳以上の人で、年金から介護保険料を天引き
されていない人

通知書が今月中に届かない場合は、すぐに連
絡してください。

なお、納付が困難な場合は、分割納付もできま
す(延滞金はかかります)。早めに相談してくだ
さい。

相談・問い合わせ先

市・県民税に関すること 税務課

☎(584)1111 ☎(584)1141

国民健康保険税に関すること 国保年金課

☎(584)1111 ☎(584)1141

介護保険料に関すること 高齢課

☎(584)1111 ☎(584)3090

参加団体募集

春日市文化祭芸能発表会

第33回春日市文化祭芸能発表会の参加団体を募
集します。日ごろの練習の成果を舞台上で発表しま
せんか。

参加は無料です。

対象 次のすべてに該当する団体

舞踊・民謡・器楽など文化活動を行っている

市内に居住または通勤・通学している人が、5人
以上いる

定期的(月1回程度)に活動している

実行委員会に必ず1人以上参加できる(当日の運
営補助・チラシ作成など)

日時 11月4日 午前10時～午後4時

場所 ふれあい文化センタースプリングホール(大
谷6-24)

発表時間 一団体15分程度

募集团体数 20団体(応募多数の場合抽選)

応募方法 6月30日 までに、参加申込書を提出す
る

募集要項は、6月15日 から市民課、いきいき
プラザ、ふれあい文化センター、奴国の丘歴史資
料館に置いてあります。また、市ホームページから
もダウンロードできます。

応募・問い合わせ先 社会教育課(大谷6-24ふれあ
い文化センター内)

☎(575)4121 ☎(593)7380

誰もが幸せな社会を目指して

男女共同参画週間

6月23日～29日は、男女共同参画週間です。

女性も男性もそれぞれの個性を十分に発揮できる社会「男女共同参画社会」。この社会の実現には、女性も男性もいきいきと活動でき、家庭や職場、地域で人間らしい生き方を楽しめる環境づくりや、責任を分かち合える関係づくりが重要です。

春日市は、平成11年9月に「男女共同参画都市宣言」を行い、平成17年3月には、「春日市男女共同参画プラン」を策定しました。さらに、現在、「春日市男女共同参画を推進する条例」づくりも進めています。

男性も女性も、すべての人が平等で楽しく幸せな社会、あなたもこの機会と一緒に考えてみませんか。

男女共同参画週間講演会

日時 6月26日 午後1時30分～3時10分

場所 市役所大会議室

演題 「DV(ドメスティックバイオレンス)とその解決方法」

参加は無料で、手話通訳も行います

問い合わせ先 人権女性政策課男女共同参画担当

☎(584)1111 ☎(584)1153

募集します

保健師(市嘱託職員)

障害程度区分認定調査などを行う保健師(嘱託職員)を募集します。

対象 保健師の有資格者で、普通自動車運転免許(AT車限定可)を持っている人

採用期間 7月1日～平成19年3月31日(9カ月間)

勤務日数 週5日(月～金曜日)

勤務時間 午前8時30分～午後5時

報酬 月額18万4,500円(有給休暇・社会保険あり、交通費支給なし)

募集人員 1人

選考方法 1次 書類審査 2次 面接

応募方法 6月21日(必着)までに、履歴書を提出する(郵送可)

応募・問い合わせ先 福祉支援課障害担当(〒816-8501春日市役所)

☎(584)1111

☎(584)3090



福岡市のごみ袋では出せません

春日市指定ごみ袋

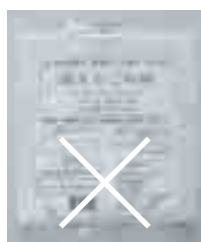
市内のごみ袋取扱店の一部では、福岡市のごみ袋も販売しています。そのため、誤って購入した福岡市のごみ袋でごみを出している人がいるようです。

福岡市の袋で出されたごみは、回収できません。「春日市指定」の表示を確認して購入してください。

問い合わせ先 ごみ減量推進課

☎(584)1111

☎(584)1147



思い出深い成人式をつくろう

成人式実行委員募集

平成19年1月8日に行われる成人式の企画・運営などに携わる実行委員を募集します。

あなたのアイデアを生かして、思い出深い成人式をつくりませんか。

対象 市内に居住または通勤・通学する20歳前後の人(高校生も可)

活動内容 アトラクションの内容検討 パンフレット作成 記念品の選定 式典の準備・運営

募集人数 10人程度(申込多数の場合選考)

申込方法 7月14日 までに、電話かファックスで住所、氏名、年齢、電話番号を伝える

申込・問い合わせ先 社会教育課

☎(575)4121

☎(593)7380

TOPICS(1)



春 日市赤十字奉仕団約80人が、5月10日、須玖北地区など市内8地区の公民館で、調理室などの清掃活動を行いました。

これは、赤十字の創始者アンリー・デュナンの生誕記念日である5月8日の「世界赤十字デー」を中心に、赤十字運動の推進のため行われているもので、県内各地で公共施設の清掃活動のほか、さまざまなボランティア活動が実施されています。

当日は、あいにくの雨だったため、施設内の清掃活動に取り組むことになりました。同奉仕団の福田澄子委員長は、「地域とのつながりを強めながら、今後もボランティア活動を続けていきたいです」と話していました。

世界赤十字デー

ボランティアDAY

2006

TOPICS(2)



ス ポーツ少年団「小倉第一ジュニアホークス」が、5月7日に柳川市で行われた「第20回全日本小学生男女ソフトボール大会福岡県大会」での優勝と、8月5日に北九州市で行われる全国大会への出場報告のため、市役所を訪れました。

発足して今年で29年目となる同チーム、全国大会への出場は今回が初めてとあって、石丸秀仁監督は、「福岡県代表として、誇りを持って戦ってきます」と、力強く意気込みを語りました。

また、全国大会に向けて、気を引き締めて練習をしている同チームの河村勇希主将は、「普段どおりの力が出せれば、絶対に良い結果を残せると思います」と自信に満ちた表情で語りました。

小倉第一ジュニアホークス

初の全国大会出場

TOPICS(3)



春 の叙勲で瑞宝単光章を受章した宮原シマエさん(伯玄町)が、5月15日、受章の報告に市役所を訪れました。

「瑞宝章」とは、社会に功労があった人へ授与される勲章のこと。宮原さんは、30年間、わたって民生・児童委員を務め、その間、地域の福祉に多大な貢献をしてきた功績が認められての受章となりました。今回の受章を、たくさんの方の福祉関係者や地域の皆さん、そして家族の支援があつてのものだと感謝の気持ちで振り返ります。

同月12日には、皇居を訪れ、天皇陛下から直々にあいさつを受けられたとか、「私だけでなく、家族にもねぎらいの言葉をいただき、大変うれしく思いました」と喜びを語っていました。

民生・児童委員として30年

瑞宝単光章を受章

情報ひろば INFORMATION

春日市役所

☎ 584 1111

URL www.city.kasuga.fukuoka.jp



仲間と共に分かち合おう きみの学校で自然体験

市内各小学校などで自然体験活動を行います。

活動を通して、自然や仲間、自分とふれ合いませんか。

対象 市内の小学生

期日 7月の土・日曜日

参加費 一人一回200円

定員 20人程度(申込先着順)

申込方法 電話かファックスで住所氏名、学年、性別、電話番号、参加希望日を伝える

子ども会に入っている人は、会を通して申し込んでください。

なお、会場や時間など詳しくは問い合わせください。

申込・問い合わせ先 春日市週末子どもクラブ事務局 江副

☎ 592 0213 (☎兼用)



一緒に活動しませんか 春日市体育指導委員募集

多くの市民にスポーツの楽しさを伝え、スポーツに親しんでもらうために活動する体育指導委員を募集しています。

対象 市内に居住または勤務している18歳以上の人

活動内容

市民生涯スポーツの振興

ニースポーツ教室などのイベントの企画・運営

地域へのニースポーツ普及

市が行うスポーツ事業への助言・協力

活動日数 月1〜2回程度(定例会)

議平日の午後7時〜9時

そのほか、必要に応じて活動していただきます。

任用期間 9月1日〜平成20年3月31日(1年7カ月間)

報酬 活動状況に応じて支給(交通費の支給もあり)

募集人員 6人程度

選考方法 書類審査 面接 7月下旬を予定)

応募方法 7月15日(必着)までに、郵送または直接窓口

所定の履歴書を提出する

応募・問い合わせ先 スポーツ課 (大谷6・28市民スポーツセンター内)

センター内)

☎ 571 3234

☎ 585 1634

第13回春日市オープン交歓 バドミントン大会

近隣地域のチームと対戦してみませんか。

対象 市内に居住または通勤通学している中学生以上の人

や、春日市や近隣地域のバドミントン協会の会員

期日 7月9日

時間 午前9時15分〜午後5時

(受付 午前9時)

場所 市民スポーツセンター2階

競技場(大谷6・28)

種目 男子ダブルス(A・B・C・D級) 女子ダブルス(A・B・C・D級) 混合ダブルス(A・B級)

申込は一人1種目に限りま

す。なお、参加者数により、種目を変更する場合があります。

参加費 一般 1200円

中・高校生 800円

定員 130人程度(申込先着順)

申込方法 6月27日(必着)までに、ハガキに住所、氏名、ふりがな、年齢、学年、性別、電話番号、出場種目、ラン

クを書いて送る

申込・問い合わせ先 波多野静子 (〒816 0824 小倉2-49-1)



部員募集 ママさんバレーボール

みんなで楽しく一緒に汗を流しませんか。子ども連れの人も歓迎します。

ウイング春日

対象 春日北中学校区に居住する女性

練習日 火・金曜日

練習時間 午後7時30分〜9時

30分

場所 春日北中学校校体育館 (桜ヶ丘7-20)

問い合わせ先 添田

☎ 591 7273 (☎兼用)

春日球志

対象 春日南中学校区に居住する女性

練習日 水・金曜日

練習時間 午後7時30分〜9時

30分

場所 春日南小学校校体育館 (春日8-100)

問い合わせ先 野中 (☎ 581 0903 (☎兼用))



山下凌平



「ペンネーム」叶



「ペンネーム」虹月宵夜



「ペンネーム」オレンジ

小学生対象 ソフトバレーボール教室

軟らかいボールを使うので、突き指の心配なく楽しめます。体力測定も行います。

日程 7月22日～9月2日の毎週
土曜日計7回

時間(1回目) 午後4時～6時
場所 西スポーツセンター(那珂川町中原東1-4-1)

市民スポーツセンター
(大谷6128)

1回目は西スポーツセンターで行います。

受講料 1500円(スポーツ安全保険料を含む)

定員 50人程度(申込先着順)
申込方法 7月14日までに、電話かファックスで氏名、学校名、学年を伝える

2回目以降の時間や場所は、初回の教室で説明します。
申込・問い合わせ先 バレーボール協会 林はやし

☎(582)2159(☎兼用)



一緒にダンスを楽しもう Gモダンダンスサークル

体と頭を使うダンスは健康と若さを保つのに最適です。

気軽に見学に来てください。

日時
金曜日 午後6時30分～9時30分
土曜日 午後3時～5時

場所 いきいきプラザ2階アリーナ(昇町1-120)

会費 月額3000円
問い合わせ先 合原くわはら

☎(592)6609(☎兼用)

いきいき会員になるための運動教室

いきいきルームの「いきいき会員」になると、健康運動指導士のアドバイスのもと、定期的に運動ができます。

対象 市内に居住または勤務する20歳以上の人

日程 1回目:計4日)

65歳未満の人のための教室

金曜コース 7月7日

土曜コース 7月8日

65歳以上の人のための教室

火曜コース 7月4日

水曜コース 7月5日

2回目以降の日程は、申込時に確認してください。

時間 午前10時～正午
場所 いきいきルーム(昇町1-120)いきいきプラザ内)

内容 講話 体力・健康測定
アドバイス ステップ台

エクササイズ・運動機器を使ったトレーニングなど

参加費 1000円

定員 各コース10人程度(申込先着順)

申込方法 前日までに電話で申し込み

☎(501)1162(☎兼用)

大腸がんについて がん征圧講演会

参加は無料で、申し込みも不要です。

日時 6月23日
午後2時～3時30分

場所 JA筑紫春日支店(小倉3-230-1)

講師 平川克哉ひらかつかつやさん(福岡赤十字病院消化器内科部長)

問い合わせ先 健康課
☎(501)1134

☎(501)0051

筑紫保健福祉環境事務所 アルコール家族教室

アルコール依存症患者の家族のための教室です。

参加は無料です。

対象 飲酒が続いている家族への対応に悩んでいる人

日時 毎月第2火曜日
午後1時30分～3時30分

場所 同事務所(大野城市白木原3-5-25)

申込方法 事前に電話で申し込み



同事務所では、専門医がアルコール依存などの相談(毎月第4火曜日・午後1時～3時)に応じています。詳しくは問い合わせてください。

申込・問い合わせ先 同事務所保
健福祉課障害者福祉係
☎(513)5585
☎(513)5598



「乳幼児の病気について」 子育て教室

1歳未満の子どもと、その保護者が対象の、情報提供と交流の場です。参加は無料です。

日時 7月6日

午前10時30分～正午

場所 いきいきプラザ(昇町1-120)

当日は、母子健康手帳を持ってきてください。

問い合わせ先 健康課

☎(501)1134
☎(501)0051

あなたのイラスト募集中

ハガキに縦書き、白黒で濃い目にはっきりと描いて、表に住所、氏名、電話番号を書いて送ってください(ペンネームも可)。著作権の都合上、作品はオリジナルのものに限ります。
あて先 〒816-8501春日市役所市報かすがイラストコーナー
掲載された人には図書券(500円分)を進呈します。

「ペンネームももかんの妹」



「ペンネームつとぎ」



福沢朋祇



「ペンネームももつぴ」



参加者募集 歯みがき教室

1歳以上の子どもと、保護者を対象に、歯科衛生士が歯の手入れ方法を教えます。

参加は無料です。

日時 6月28日

午前10時30分～正午

場所 いきいきプラザ(昇町1-120)

当日は、母子健康手帳と子ども用歯ブラシを持ってきてください。

問い合わせ先 健康課

☎(501)1134

☎(501)0051

県教育委員会

心と体の発達巡回教育相談

筑紫地区に居住する就学前の幼児と保護者が対象です。

相談を希望する人は、事前に申し込んでください。

日時 7月25日

午前9時～午後5時

場所 大野城市役所会議室 大野城市曙町2-2-1

相談内容

子どもで日常生活で困っている問題

子どもの精神発達、発育障害に関する問題

幼稚園などで困っている問題

入学に関する問題など

申込方法 6月30日 までに、電話かファックス、または直接窓口で氏名、電話番号、相談内容を伝える

申込問い合わせ先 学校教育課

☎(584)1111

☎(584)1153

気軽に相談してください
親と子のなやみ相談窓口

悩みを抱える子どもと、その親のための相談窓口です。

気軽に相談してください。

日時 6月25日・26日

午前9時～午後4時30分

相談専用☎(641)7860

相談場所 粕屋総合庁舎福岡市東区箱崎1-18-1

面接を希望する人は、事前に電話で予約してください。

予約問い合わせ先 県生活労働部青少年課指導係

☎(643)3388

☎(643)3389



障害者のための

自動車運転免許取得費補助

障害者が自動車運転免許を取得するために通う自動車学校の費用の一部を補助します。

対象 次のすべてに該当する人

県内に居住する18歳以上の人

自動車の運転に支障がないと認められる人

療育手帳を持っている人か児童相談所・障害者更生相談所と同程度の判定を受けている人または身体障害者手帳を持っている人

運転免許取得後、就労などが確実に見込まれる人

過去に自己の責任で運転免許の取消処分を受けたり、失効したりしたことがない人

入校は助成決定通知後で、9月30日 までに免許を取得することが条件です。

補助額 10万円

申込方法 7月3日 までに、受講計画書を提出する

計画書の様式は窓口にあります。

申込問い合わせ先 福祉支援課

☎(584)1111

☎(584)3090

夏休み地域交流事業
サンサンひろば

交流会やキャンプなどを通して、障害がある子もない子も一緒に、交流の輪を広げませんか。夏休みの思い出を作りましょう。

対象 市内に居住する6～18歳の障害者

小学3年生以下は、1泊キャンプのみ保護者同伴で参加してください。

日程 8月3日・10日・17日・22日・24日・25日、9月2日(計6回)

8月24・25日はキャンプです。

場所 市社会福祉センター(昇町3-10-1)

キャンプは、国立夜須高原少年自然の家で行います。

参加費 一回1000円(キャンプは2000円)

兄弟姉妹での参加は、参加費を減額します。

定員 20人(申込先着順)

ボランティア(40人)も募集します。

申込方法 6月30日 までに、電話かファックスで住所、氏名、学年、電話番号を伝える

申込・問い合わせ先 春日市社会福祉協議会

☎(581)7225

☎(581)7258

さすがボランティアセンター お話し相手ボランティア講座

人とのコミュニケーション方法を学んでボランティア活動に生かしませんか。

日程 7月5日・12日・19日(計3回)

時間 午前10時～正午

内容 認知症ってホントはどうなの? こころの病と向き合う ことば以外のコミュニケーション

参加費 200円(ボランティア活動保険費として)

定員 30人(申込先着順)

申込方法 7月3日 までに、電話かファックス、直接窓口

でお話し相手ボランティア講座参加希望、住所、氏名、電話番号を伝える

申込・問い合わせ先 さすがボランティアセンター(春日市社会福祉協議会内)

☎(501)1136

☎(581)7258

春日市献血推進協議会
献血にご協力を

治療に必要な血液は、すべて献血で賄われています。献血にご協力をお願いします。

期日 6月22日

時間・場所

午前9時30分～11時30分

春日南小学校体育館 春日8-100

午後1時30分～4時

須玖小学校体育館 須玖南2-71

問い合わせ先 同協議会市福祉課(計画課内)

☎(584)1111

☎(584)3090

**県介護支援専門員
実務研修受講試験**

介護支援専門員の資格取得の実務研修を受けるための試験です。合格すると、実務研修受講後に資格が与えられます。

試験日 10月22日

試験場所 第一経済大学 太宰府市五条3-11-25

申込期間 7月18日～8月17日

申込書配布場所

筑紫保健福祉環境事務所

県庁介護保険課

福岡市各区保健福祉センター

福岡市情報プラザ(福岡市役所)

アクロス福岡(文化観光情報ひろば)

受験申込書は、7月10日～8月17日に配布します。申込方法など、詳しくは問い合わせてください。

問い合わせ先 県保健福祉部介護保険課

☎(643)3322

☎(642)1504



回収します

「ゴミ袋の差額シール」

未使用の「差額シール」を、購入

価格と同額で回収します。

回収期間 7月3日～31日

時間 午前8時30分～午後5時

場所

市役所ごみ減量推進課

西出張所(昇町1-120いきいきプラザ内)

西出張所は、土・日曜日、祝日も回収します。

問い合わせ先 ごみ減量推進課

☎(584)1111

☎(584)1147



**春日まちづくり支援センター
ワンコイン知恵袋教室**

「新しいことを学びたい」「地域に友達が欲しい」と思っている人に学びと仲間づくりの場を、自分の特技や知恵を教えてみたいと思っている人に教える場を提供します。

いずれの教室も1回完結です。

田舎(こぼ)春日の田舎(こぼ)博多(こぼ)

日時 7月1日

午前10時～11時30分



定員 15人

着付け(簡単な浴衣の着付け)

日時 7月4日

午後1時～3時

定員 10人

菓子作り(豆乳カップケーキ)

日時 7月6日

午後1時～3時

定員 15人

玄米食(玄米ごはんのおにぎり)

と季節の野菜)

日時 7月7日

午前10時～午後1時

定員 15人

園芸(木のプランター作りと花植え)

日時 7月13日

午後3時30分～5時30分

定員 15人

はがき絵(同センターの庭を題材に)

日時 7月15日

午後1時～4時

定員 20人

小物作り(ビーズで小物)

日時 7月18日

午後1時～3時

定員 20人

普段使いの風呂敷(包み方など)

日時 7月21日

午前10時～正午

定員 10人

郷土史(郷土の名前の由来などのおもしろい話)

日時 7月25日

午前10時～11時30分

定員 15人

竹を使う小物(トトロを作る)

日時 7月27日

午前10時～正午

定員 15人

場所 同センター(須玖北5-155)

参加費 各500円

教室によって、別途、材料費が必要なものもあります。

申込方法 6月15日～各講座4日前に、電話かファックス、Eメール、ハガキで住所、氏名、電話番号、希望講座名を伝える(複数申込可)

☎(589)3388

☎(589)3399

✉machicen@bb.csf.ne.jp

名、電話番号、希望講座名を伝える(複数申込可)

いずれも申込先着順で、申込者が3人に満たない場合は講座を中止します。

なお、材料費や当日持つてくるものなど、詳しくは問い合わせてください。

申込・問い合わせ先 同センター

(〒816-0864)

☎(589)3388

☎(589)3399

✉machicen@bb.csf.ne.jp

できることから始める 省エネライフ



地球温暖化の原因「二酸化炭素(CO2)」は、私たちの生活の中で欠かせない電気やガス、水道、自動車を使ったり、ごみを焼却処理することによって、大量に排出されています。

私たちの暮らしと密接に関係している地球温暖化。地球にも財布にもやさしい省エネライフを、あなたも始めてみませんか。

やってみよう省エネライフ

人のいない部屋の照明は、こまめに消す

年間CO2排出量約7kg減 年間400円の節約

1日1時間、テレビの利用を減らす(つけっぱなしにしない)

年間CO2排出量約13kg減 年間750円の節約

炊飯ジャーの保温をやめる

年間CO2排出量約31kg減 年間1,770円の節約

シャワーの時間を1日1分減らす

年間CO2排出量約65kg減 年間7,000円の節約

今後、定期的に省エネライフのコツを紹介していきます。

問い合わせ先 環境課環境計画担当 (584)1111 ☎(584)1147

中央公民館 くらしの教養講座

暮らしに役立つ教養講座です。
参加は無料で、託児3000円。
先着10人(や手話通訳、要約筆記も
行います)。
日時 6月28日
午前10時～正午

場所 ふれあい文化センターサン
ホール(大谷6-24)

演題 「消費生活のトラブル解決
法」
講師 井出龍子さん(市消費生活
センター相談員)

託児を希望する人は、6月21
日までに、電話かファックス
で住所、氏名、電話番号、子ども
の氏名・年齢を伝えて申し込ん
でください。

託児申込・問い合わせ先 社会教
育課公民館担当

☎(575)4121
☎(593)7380

奴国の丘歴史資料館 夏休み体験教室

市内に居住する小学生が対象で
す。土器や土笛、勾玉を作って、古
代の職人の技を体験しませんか。

土器・土笛作り教室

日時 7月22日

午前9時～正午
午後2時～5時



申込期間 6月22日～7月15
日

作った土器と土笛は、8月
26日 同資料館前の広場で
焼きます。

勾玉作り教室

日時 7月29日

午前9時～正午

申込期間 6月29日～7月22
日

場所 同資料館(岡本3-157)
参加費(材料費) 各100円
定員 各40人(申込多数の場合抽
選)

土器・土笛作りは保護者同伴
で参加してください。

申込方法 電話かファックス直

接窓口で希望教室名、住所、

氏名、学校名、学年、電話番

号、参加教室名、土器・土笛

作りは希望時間(か)を

伝える

申込・問い合わせ先 文化財課同

資料館内)

☎(501)1144

☎(573)1077

春日市商工会 インターネット講座

いずれもパソコン操作ができる
人が対象です。

ネット取引講座

内容 インターネットを使った
銀行サービスの利用や株
取引などの基礎知識

日程 7月10日・12日・14日
(計3日)

ネット通販販売者向け講座

内容 インターネットを使った
製品の告知、販売

日程 7月19日・21日・24日
(計3日)

時間 午後1時～5時

場所 同商工会館(伯玄町2-24)
受講料 各1万円(資料代を含む)
同会会員は9000円です。

定員 各10人(申込先着順)

申込方法 6月19日 以降に、電

話かファックスで希望教室

名、住所、氏名、電話番号を

伝える

申込・問い合わせ先 同商工会

☎(581)1407

☎(575)0702



にんじん畑 今日の給食なあに？

6月29日の給食



麦ご飯、八珍豆腐、焼き餃子、パンサンスウ、オレンジ、牛乳

春日市は、平成15年5月から、全中学校で選択制給食を実施しています。
成長期の生徒たちの健康を考え、栄養士がバランスのよい献立を作成して
います。

このコーナーでは、中学校の給食の献立と作り方を紹介していきます。

八珍豆腐

材料(4人分)

豚肉(食べやすい大きさに切る)

……………80g

豆腐(水切りして3cm角)・240g

あさり・えび(酒を振り、ゆでる)

……………各40g

たけのこ(短冊切り)……………80g

にんじん()……………60g

玉ねぎ(くし切り)……………120g

根深ねぎ(斜め切り)……………40g

干し椎茸(水で戻し、千切り)

……………2枚

サラダ油……………小さじ1.5

A { 濃口しょう油……………大さじ1.5
砂糖……………大さじ1
豆板醤・中華だし……………各小さじ1
塩・こしょう……………少々
片栗粉……………小さじ4
作り方

鍋に油を引き、豚肉を炒め、
軽く火が通ったら、豆腐と調
味料以外の具材を入れる。

Aを入れ、豆腐を加えて煮
込む。塩・こしょうで味を整え
る。

片栗粉を同量の水で溶き、
鍋に回し入れとろみを付ける。

県立福岡農業高等学校 「食」農学校開放講座

日程 7月22日～12月2日の土曜
日のうち8日間

講座名・内容

「食料と生活」講座

食卓をデザイン 和菓子・

しょう油・ジャム・パン製造

ピザ・アップルパイ作り

「農業と環境」講座

花・野菜の種まき 鶏糞製

みかんの収穫 稲刈り 水耕栽

培 ボトルフラワー

受講料 各8,000円

定員 各20人(申込多数の場合抽

選)

申込期間 6月30日～7月7日

(必着)

時間や申込方法など詳しく

は問い合わせてください。

問い合わせ先 同講座実行委員会

☎(924)5031

☎(928)0740



日本を支えるデータ作り

登録統計調査員募集

市では、統計調査を行う際の調
査員を募集しています。

統計調査の実施のときには、居
住地域などを考慮し、調査依頼を

します。

対象 20歳以上の人で、次の条件

すべてに該当する人

選挙運動に直接関わらない人

警察や税務に関する事務に従事

していない人

秘密保持ができる人

仕事内容

調査事務説明会への出席

調査担当区域の確認

調査票の配布・収集、点検

報酬 調査終了後、調査内容や件

数に応じて支給(2万5,

000～5万円程度)

申込方法 電話か直接窓口で申し

込む

申込問い合わせ先 地域づくり

課商工農政担当

☎(584)1111

☎(584)1153

参加者募集

戦没者追悼式・慰霊巡拝

福岡県戦没者追悼式

先の大戦における戦没者に追
悼の誠を捧げ、平和を祈念する
追悼式の参加者を募集します。
参加は無料です。

対象 福岡県出身の戦没者や一

般戦死没者の配偶者、

三親等以内の血族、一親

等の姻族

期日 8月15日

場所 県立福岡武道館 福岡市

中央区大濠1-1-1

募集人員 市内10人(申込多数
の場合選考)

申込方法 6月26日 までに、

電話で申し込む

慰霊巡拝

厚生労働省は、それぞれの戦
域での戦没者の配偶者再婚者
を除く)や父母、子ども、兄弟姉
妹などの遺族を対象に、慰霊巡
拝の参加者を募集します。

募集人員・期間

旧ソ連沿海地方 30人

10月9日～19日(11日間)

南西諸島(海上慰霊) 100人

10月上旬(3日間)

申込締切 6月20日

申込問い合わせ先 福祉計画課

☎(584)1111

☎(584)3090



福岡国税局

電話相談センター

福岡国税局は、税に関するあら
ゆる相談に応じる、電話相談セン
ターを開設します。

ただし、同センターでは、電話の

みの相談となります。面接相談を

希望する人は、最寄りの税務相談

室や税務署を利用してください。

開設日 7月3日

これに伴い、6月末で、福岡国

税局税務相談室、博多分室、福岡

分室、筑紫分室を閉鎖します。
問い合わせ先

福岡国税局・電話相談センター

☎(431)5100

筑紫税務署 筑紫野市針摺西1

1-1-8

☎(923)1400

福岡県建設労働組合

第29回住宅デー

増改築推進キャンペーンにちな

んだ住宅相談会です。

相談は無料です。

日時 6月18日

午前10時～午後2時

場所 春日市社会福祉協議会昇

町3-101-1

内容 増改築の相談 住宅診断

や家の手入れの相談

当日は、無料で包丁研ぎやま

な板削りなども行います。

問い合わせ先 同組合筑紫支部

☎(922)7118

☎(922)3791



多発しています!

自転車の盗難

今年に入って、自転車の盗難が
多発しています。そのほとんどが

「簡単に盗める」歩くのが面倒だ
から」などの理由で犯行が行われ

ており、罪の意識の薄ささがつか
がわれます。

盗難を防ぐためにも、日ごろか

ら次のことに心掛けましょう。

鍵のツーロック

備え付けの鍵だけでなく、ワ

イヤー錠などを取り付けて、鍵

を二重にしましょう。これで、犯

行を手間取らせ、犯行自体をあ

きらめさせることができます。

防犯登録

自転車の購入の際は、必ず「防

犯登録」をしましょう。登録は、

法律で義務付けられています。

自転車が盗まれた場合、この

登録をしておくことで捜査が迅速に

行われ、発見される確率も高く

なります。

駐輪は、管理された駐輪場に

まちの防犯指導員

筑紫野警察署と筑紫地区防犯

協会から、地域住民5人が「防犯

指導員」として委嘱されました。

平成18年度から2年間、防犯

に関する指導や啓発活動、高齢

者の保護などに取り組んでもら

います。

市内の防犯指導員

富高英昭さん

金子昌隆さん

河鍋辰紀さん

高橋道夫さん

田中廣毅さん

問い合わせ先 地域づくり課

☎(584)1111

☎(584)1153

閲覧しませんか 教科書展示会

文部科学省の検定を受けた、現在小・中学校で使用されている教科書を展示します。

日程 6月16日～7月10日

(火・土・日曜日を除く)

時間 午前10時～午後5時(最終日は午後4時まで)

場所 筑紫野市勤労青少年ホーム

(筑紫野市諸田169)

問い合わせ先 筑紫野市学校教育課

課学校教育担当

☎(923)4801

☎(923)9644

自衛官採用試験 受験説明会

自衛官採用試験の受験に関する説明会を行います。

日時 6月25日

午前10時～正午

場所 クローバープラザ5階視聴覚室

覚室(原町3-1-7)

問い合わせ先 春日募集事務所

☎(591)7450(☎兼用)

贈呈します

内閣総理大臣名の書状

戦時中、戦地に派遣され、戦時衛生勤務に服した、旧日本赤十字社救護看護婦または、旧陸海軍従事

看護婦(慰労給付金受給者を除く)に対し、内閣総理大臣名の書状を贈呈しています。

該当する人は申請してください。

請求期限 平成19年3月31日

まで

問い合わせ先 総務省大臣官房管

理室業務担当(東京都千代田区霞が関2-1-12)

☎(03)5253(5182)

☎(03)5253(5190)

正しく使おう 公園の遊具

公園の遊具は、子どもたちが楽しく遊ぶためのものです。安心して遊具を利用することができますように、専門の業者に委託して定期的に安全点検を行ったり、市職員が公園パトロールをしたりしています。

しかし、使い方を誤ると、ケガをする場合があります。ブランコのチェーンを短くしたり、すべり台の上でふざけたりすると、大変危険です。

遊具は正しく使って、楽しく遊ばしましょう。

また、小さな子どもが公園で遊ぶときは、必ず保護者が付き添ってください。

問い合わせ先

都市計画課

☎(584)1111

☎(584)1143

食中毒に注意しましょう

食中毒は、6月から9月にかけての夏期に多く発生し、発生の原因の約9割は、細菌とウイルスによるものです。

食中毒について正しい知識を身に付け、しっかりと予防しましょう。

食中毒菌の特徴

食中毒菌には、5つの特徴があります。

高温で多湿、栄養が豊富な環境で、どんどん増殖する。反対に、低温で乾燥した環境では、増殖のスピードが遅くなる。

冷凍しても、死滅させることはできない。

増殖のときに毒素を作り出すものがあり、その毒は加熱しても消えない。

食品に汚染しても、臭いや味に変化がない場合がある。菌の多くは、高熱に弱い。

食中毒予防三原則

菌を付けない
食品に食中毒菌を付けないよう、食品や手、調理器具をしっかりと洗いましょう。

また、保存の際は、ラップなどにしっかりと包んで保存しましょう。

加熱せずに食べる野菜などは、流水で十分に洗って使う。

肉や魚、卵を扱う前後は、手洗いを心掛ける。

菌を増やさない
食中毒菌の増殖を防ぐためにも、食品は冷蔵庫に保存し、温度管理に気を付けましょう。

また、作った料理は、できるだけ出来立てを食べ切るようにしましょう。

買い物の際は、冷凍・冷蔵が必要な食品を最後に買うようにし、寄り道せずに、まっすぐ持ち帰る。

温かい料理は温かいうちに、冷たい料理は冷たいうちに食べる。料理は、食卓に長く放置しないよう気を付ける。

菌を殺す

菌は高熱に弱いものが多いので、食品内部まで十分加熱するようにしましょう。

また、調理器具は、定期的に消毒などをおきましょう。

また、表面の傷に汚れや細菌が入り込むので、しっかりとすり洗いをして、熱湯をかけて消毒する。肉用・魚用・野菜用など、食材別に用意しておく

と便利。

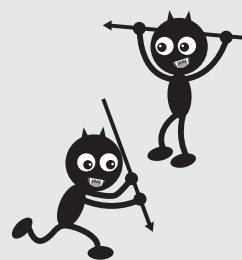
包丁
柄の部分や刃の付け根が汚れやすいので、丁寧に洗う。

また、板同様、食材別に揃える

と便利。
ふきん・スポンジ・たわし
使用後はしっかりと洗い、定期的に消毒する。

食中毒が疑われる場合

食中毒になると、下痢や嘔吐などの症状があらわれます。食中毒の疑いがある場合は、自己判断せず、すぐにかかりつけの病院で受診しましょう。





相談

CONSULTATION

相談方法など詳しくは、直接問い合わせてください。

法律相談

市無料法律相談

☎ 584 1111 FAX 584 1142
第3水曜日 受付8時30分～50分
定員15人(9時の抽選で決定) 市役所2階市民相談室

春日市商工会無料法律相談

☎ 581 1407 FAX 575 0702
第1水曜日 受付8時30分～ 先着6人 相談13時～15時 同商工会

県無料法律相談 ☎ 643 3333

毎週金曜日 13時～16時 事前に電話予約 先着6人 県民相談室(県庁内)

有料法律相談 ☎ 741 3208

月～金曜日10時～19時 土・日曜日、祝日10時～13時 1人30分程度で5,250円 事前に電話予約 天神弁護士センター

交通事故相談

県交通事故相談 ☎ 622 0403

月～金曜日 9時～17時 県交通事故相談所(県庁内)

交通事故被害者電話相談 ☎ 741 2270

月～金曜日 13時～16時 県交通事故被害者サポートセンター

高齢者のための相談

シルバー 110番

☎ 584 3344 FAX 584 3354
月曜日を除く毎日 受付9時～16時 高齢者総合相談センター(県クローバープラザ内)

高齢者のあらゆる相談

北地域 ☎ 589 6227 FAX 589 6228
南地域 ☎ 595 8188 FAX 595 6069
8時30分～17時 地域包括支援センター

障害者のための相談

福岡県障害者110番

☎ 584 0039 FAX 584 3354
月曜日を除く毎日 9時～17時30分 障害者相談センター(県クローバープラザ内)

聴覚障害者のためのFAX悩み相談

FAX 721 4343
月～金曜日9時～18時 土曜日9時～13時 福岡いのちの電話

子どもに関する相談

子育て・子どもの悩み相談

☎ 584 1015 FAX 584 7739
月～土曜日(祝日を除く) 9時30分～18時 子育て支援センター家庭児童相談室(すくすくプラザ内)

赤ちゃん・こども電話相談

☎ 715 0110
年末年始を除く毎日 9時～17時30分 県看護等研究研修センター

子どもの権利110番(電話相談)

☎ 752 1331
毎週土曜日 12時30分～15時30分 天神弁護士センター

女性のための相談

夫や恋人からの暴力・セクハラ相談

☎ 513 7335
月～金曜日(祝日・年末年始を除く) 10時～17時 外国語の相談可 ちくし女性ホットライン

女性のための総合相談 ☎ 584 1266

月曜日を除く毎日 受付9時30分～16時 金曜日は18時～20時30分も) あすばる相談室 県クローバープラザ内)

性犯罪などの電話相談

☎ 632 7830
月～金曜日(祝日を除く) 8時30分～17時15分 ミズ・リリーフ・ライン(福岡県警)

犯罪被害の相談

犯罪被害者の電話相談

☎ 738 3363
毎週火曜日 16時～19時 天神弁護士センター

人権についての相談

定例人権相談

☎ 584 1111 FAX 584 1153
第1火曜日(6月は1日) 10時～15時 市役所2階市民相談室

人権相談

☎ 922 2881 FAX 922 3342
月～金曜日 8時30分～17時 福岡法務局筑紫支局

消費生活相談

春日市消費生活相談

☎ 584 1111 FAX 584 1153
毎週月・水・金曜日(祝日を除く) 10時～15時 市役所2階市民相談室(第3水曜日は市役所2階206会議室)

福岡県消費生活相談 ☎ 632 0999

月～金曜日 9時～17時 消費生活センター

悩みの相談

心配ごと相談 ☎ 581 7225

毎週水曜日 10時～15時 春日市社会福祉センター4階

不安・悩み電話相談 ☎ 741 4343

24時間受付 福岡いのちの電話

土地・建物の相談

不動産相談 ☎ 643 3333

毎月第1・3木曜日 13時～16時 県民相談室(県庁内) 電話予約が必要

住宅相談 ☎ 725 0876

月～金曜日 10時～17時 住宅情報プラザ福岡(県建築住宅センター内)

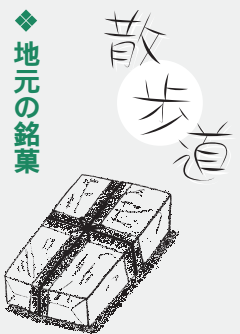
国の業務に関する相談

定例行政相談 ☎ 584 3366

第4火曜日 10時～15時 ふれあい文化センター学習室1



先日、実家に里帰りをしました。いつもと変わらぬ風景。しかし、いたる所に、見慣れない新しい市名が、この春地元が近隣の4市町村と合併しました。炭坑の閉山などの影響で人口が減り続け、娯楽施設や駅もない不便な街でも、「名は体を表す」というように、見たままの風景のような市名を、結構気に入っています。親しみ深い市名がなくなり、少し感傷的な気分になり、そんな気分を一新してくれたのは、実家の近所で売っている、地元の銘菓(?)のお饅頭でした。旧市名が付けられたこのお饅頭。職人さんが一つ一つ手作りをしています。ポタ山のような飾り気のない形も、中に詰まったインゲン豆の餡の素朴な味も、昔とまったく変わりません。新しく生まれ変わることは重要ですが、しかし、古きを大切にすることも忘れずにいたいものだと、お饅頭片手に感じました。川



須玖東子ども会育成会

ろくろで陶器づくりに挑戦

5月14日、須玖東子ども会育成会の子どもたち20人が、佐賀県有田市の「体験工房ろくろ座」で、ろくろを使った陶器づくりを体験しました。

初めて見る「ろくろ」に、子どもたちは少し戸惑い気味な様子。恐る恐る手を伸ばして何とか形を整えようとしますが、なかなかうまくはいきません。それでも、少しずつ器らしい形に変わっていく様子を、まわりの子どもたちも真剣なまなざしで見守りました。工房の人たちの指導もあり、30分ほどで立派な器が完成。それと同時に、まわりからは拍手がわき起こりました。

作品を作り終えた子どもたちからは、「もう1回やりたい」という声も。作品は工房で焼いた後、3ヵ月後に送られてきます。子どもたちは自分で作った器が届くのを、今から心待ちにしている様子でした。(広報レポーター ふくやままさみ 福山正美)



第3期目が始動

春日まちづくり塾

5月20日、春日まちづくりセンター「ぶどうの庭」で、春日まちづくり塾が行われ、市内・外の28人が受講しました。

同塾は、話し合いの手法を学びたい人や、まちづくりに興味のある人を対象に、市が主催する体験型の講座(計8回)で、今年で3年目となります。今年第1回目のこの日は、「楽しく仲間作り」をテーマに、頭と体を使った手法の講義が進められました。

受講生のほとんどが初対面のため、初めは緊張して、うまく会話ができなかったという人も。しかし、趣向を凝らしたグループワークを通じて、だんだんと話が弾むようになり、楽しい時間を共有することができたようです。

今後は、会議記録の取り方や、グループに分かれての自主企画づくりなど、来年1月の卒業式に向け、まちづくりに必要な技術を身に付ける勉強を続けます。



市の人口	5/15 現在
総人口	109,659人
女 55,959人	男 53,700人
世帯数	43,353世帯

表紙の写真

5月31日、須玖児童センターで行われた「屋上DEあそび」の様子。子どもたちは、広い屋上を、一輪車やインラインスケートなどで、元気に走り回っていました。

奴国史真館

やよいごと
弥生琴

昭和52年に新幹線車両基地建設に伴って行われた辻畑遺跡つじはたけの発掘調査の際、弥生時代の琴が発見されました。それを基に復元したのが、この弥生琴です。

当時、春日市郷土史研究会の篠原繁樹しのはらしげさんが、2年近くの歳月をかけて、完全な復元品として制作しました。共鳴槽を持つ精巧なつくりで、材質も出土したものと同じ縦材もみが使われています。



長さ1.5m

(奴国の丘歴史資料館)